

「大崎圏域園芸特産振興戦略プラン」

令和3年4月1日
令和4年4月1日改訂

北部地方振興事務所
農業振興部

「みやぎの園芸特産振興戦略プラン」:宮城県農業行政の上位計画である「みやぎ食と農の県民条例基本計画」を具体化するための園芸特産部門の実施行動計画
「大崎圏域園芸特産振興戦略プラン」:「みやぎの園芸特産振興戦略プラン」における大崎圏域の具体的なアクションプラン

食と農を取り巻く情勢

食に関する情勢

- ・人口減少や高齢化に伴う食料消費の減少
- ・ライフスタイル等の変化に伴う食の外部化
- ・卸売市場の野菜の取扱数量は減少傾向の一方、農産物直売所の売上は増加傾向
- ・自然災害の頻発化、新たな感染症等、食の安定供給を脅かす様々なリスクが発生

農・農村に関する情勢

- ・販売農家数は10年間で40%減少
- ・65歳以上の基幹的農業従事者は63%(H27)
- ・企業参入の増加(R1までに累計60件)
- ・地方移住の関心高まり、田園回帰の流れ

大崎圏域園芸特産戦略プラン これまでの成果

園芸

- ・ねぎ類、加工用ばれいしょの生産拡大
- ・大豆の機械体系を活用したえだまめ栽培
- ・地域特産品としてのせり栽培への取組
- ・企業参入と法人間連携の取組強化

特産

- ・菌床しいたけ生産者の増加・GAPの取組
- ・太陽光パネル下でのきくらげ生産の拡大

補助事業(主なもの)

- ・国産農畜産物供給力強靱化対策(R2)
涌谷町:ねぎ1次加工処理施設整備
- ・産地生産基盤パワーアップ事業(R1)
美里町:水耕栽培施設整備
- ・大規模園芸経営体育成事業(R1)
加美町:ねぎ出荷調整施設整備
- ・産地パワーアップ事業(H28)
美里町:青ねぎ集出荷貯蔵施設整備

「みやぎの園芸特産戦略振興プラン」 (計画期間:R3年度～R7年度)

■ スローガン

「先進的園芸経営体と共に切り拓く新しいみやぎの園芸産地～みやぎの園芸倍増に向けて～」

基本方針1 先進技術を駆使した施設園芸の推進

- ・先進技術を活用した施設園芸産地の拡大
- ・先進的園芸経営体の育成
- ・技術革新による次代の施設園芸の推進

基本方針2 大区画ほ場を活用した露地園芸の推進

- ・水田等における収益性の高い園芸作物の推進
- ・地域をけん引する経営体を核とした露地園芸の振興
- ・効率的な作業体系の推進

基本方針3 食品関連産業との連携による園芸サプライチェーンの構築

- ・食品関連産業との連携促進
- ・多様なニーズに対応した野菜・花・果樹・特用林産の生産拡大と販路開拓

基本方針4 園芸産地の発展に向けた多様な人材等の確保・育成

- ・多様な人材の活用
- ・企業参入による園芸生産の拡大

■ 目指すべき姿

- ・先進技術を駆使した全国トップレベルの施設園芸
- ・担い手を核とした収益性の高い大規模露地園芸

■ 産出額目標(億円)

	H30	R7	増加割合
園芸	333	500	1.50
野菜	280	424	1.51
花き	27	41	1.52
果樹	26	35	1.35

「大崎圏域園芸特産振興戦略プラン」 (計画期間:R3年度～R7年度)

■ 園芸特産振興の方向性

- (園芸)
 - ・土地利用型農業法人や生産組織への機械化一貫体系導入等による露地園芸の取組拡大
 - ・施設園芸における高度な環境制御技術の導入による生産性の一層の向上
 - ・食品関連産業との連携強化による加工・業務向け野菜の更なる生産拡大
 - ・企業や個人の新規参入促進及び多様な人材確保に向けた体制整備
 - ・JA各部会等の新規生産者の確保・技術継承等による組織体制の強化
 - ・各種補助事業を活用した施設・機械整備等による生産体制の強化
 - ・関係機関との連携による生産現場での品目の選定及び品種・栽培技術の導入・普及による安定生産
 - ・直売等多彩な生産・販売形態の支援

(特用林産物)

- ・補助事業を活用した生産施設整備や機械化による生産性の向上
- ・GAPの推進による経営改善と多様な販売ルートの構築
- ・各種補助事業を活用した施設・機械整備等による生産体制の強化
- ・直売等多彩な生産・販売形態の支援

■ 重点振興品目 ※太字は特に推進

(県戦略品目) 17品目

いちご、きゅうり、**トマト**、ほうれんそう、**ねぎ類**、たまねぎ、キャベツ、**えだまめ**、**レタス**、せり、**ばれいしょ(加工・業務用)**、輪ぎく、スプレーぎく、花壇用苗物類、日本なし、ぶどう、しいたけ

(地域戦略品目) 18品目

だいこん、かぼちゃ、にんじん、ごぼう、しそ、こまつな、ゆきな、はくさい、**なす**、みずな、**しゅんぎく**、にら、**ブロッコリー**、さつまいも、ばら、ブルーベリー、えのきたけ、わさび

■ 販売額目標(千万円)

	H30	R7	増加割合
園芸	263.2	439.4	1.67
野菜	223.3	395.3	1.77
花き	33.1	36.4	1.10
果樹	6.8	7.6	1.13
特産	50.4	58.7	1.16

主な品目の目標(ha, 千万円)

- **ねぎ類**
作付面積 121.8 → 135.9
販売額 84.7 → 109.9
- **レタス等(加工業務用を主)**
作付面積 36.0 → 41.0
販売額 8.5 → 128.5
- **トマト**
作付面積 23.7 → 27.1
販売額 33.2 → 43.1